第1号様式
所属進行表

# 業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年3月31日）

| 所属 | 局名 | 部名 | 室・課（出先は所属）名 | 所属のホームページ |
|---|---|---|---|---|
| | 教育局 | | 二宮高等学校 | http://www.ninomiya-h.pen-kanagawa.ed.jp/ |

## Ⅰ　業務概要

校長の高梨智です。
本校の教育目標である「気力・体力・学力の調和的充実」と「明るい豊かな人間性の育成」を進めるため、「授業を構成する力」「授業を実践する力」「生徒を理解する力」「生徒を指導する力」による組織的な授業力の向上に取り組んでいます。

## Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

| | | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 出納整理期間 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業経費 | 項目 | (再)配当額 | 支出済額 | | | | | |
| | 事業費 | 114,731 | 1,965 | 9,814 | 48,155 | 46,003 | 8,794 | 114,731 |
| | 維持管理費 | 24,779 | 2,810 | 5,973 | 5,788 | 7,884 | 2,325 | 24,779 |
| | 計 | 139,510 | 4,775 | 15,787 | 53,943 | 53,887 | 11,119 | 139,510 |
| 人件費　（注1） | | | 148,553 | 102,270 | 151,462 | 103,203 | | 505,488 |
| 合計 | | | 153,328 | 118,057 | 205,404 | 157,090 | 11,119 | 644,998 |

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は一致しない場合があります。

## Ⅲ　職員配置状況

| | 区分 | ４月１日 | ７月１日 | 10月１日 | １月１日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配置職員数 | 常勤職員 | 56 | 57 | 56 | 56 |
| | 上記以外の職員 | 34 | 34 | 36 | 36 |
| | 計（人） | 90 | 91 | 92 | 92 |

## Ⅳ　業務実施状況

### １　生徒数の状況(平成28年4月1日現在)

| | | １年 | ２年 | ３年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学級数 | | 7 | 6 | 7 | 20 |
| 生徒数 | 男 | 134 | 91 | 115 | 340 |
| | 女 | 144 | 146 | 148 | 438 |
| | 合計 | 278 | 237 | 263 | 778 |

## 2　年間行事予定

| | | |
|---|---|---|
| 4月　入学式･始業式 | 8月　夏休み･部活動見学会 | 12月　期末テスト |
| 5月　遠足･ｷｬﾘｱ体験･中間テスト | 9月　体育祭･学校説明会 | 1月　卒業ﾃｽﾄ |
| 6月　文化祭・3者面談 | 10月　中間テスト | 2月　29年度入学者選抜 |
| 7月　期末テスト･生徒総会 | 11月　修学旅行･ｷｬﾘｱ講演会 | 3月　卒業式･学年末ﾃｽﾄ･終業式 |

## 3　進路の状況

| | | 平成27年度 | 平成26年度 | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業者数 | | 260 | 256 | 256 | 273 | 293 |
| 進学 | ４年制大学 | 90 | 86 | 80 | 93 | 104 |
| | 短期大学 | 29 | 27 | 15 | 23 | 22 |
| | 専門学校・各種学校 | 92 | 100 | 114 | 101 | 101 |
| 就職 | | 20 | 19 | 19 | 17 | 19 |
| その他・進学準備等 | | 29 | 24 | 28 | 39 | 47 |

# Ⅴ　業務運営に関する評価

## 1　平成28年度の学校目標

1　生徒の多様なニーズに応える教育課程を編成する。
2　生徒の基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力を養う授業改善に取り組む。
3　基本的な生活習慣の確立と教育相談体制の充実を図る。
4　キャリア教育・シチズンシップ教育の充実を図る。
5　地域との連携・協働の充実を図り、信頼させる学校つくりを推進する。
6　事故・不祥事防止を徹底するとともに、防災教育と安全安心な学校づくりを推進する。

## 2　平成28年度の学校目標の評価

1 アクティブラーニングを取り入れた研究協議を行い、共通理解を図ることができた。
授業形態や教材材等の工夫、情報機器の活用等により、生徒主体の学習を推進し、学習意欲を引き出すことができた。
2 習熟度別学習、小集団学習等を継続的に実施して効果も出てきている。
「相互授業見学」等を実施し、個に応じた承認や評価を行う機会を設け、共通理解を図った。
放課後等の時間を活用して補習等が高い頻度で行われ、生徒の学習意欲と達成感を高める効果があった。
部活動、委員会等が地域の保育園、小中学校、二宮町と連携してボランティア活動等をはじめとする種々の活動を行い、地域の住民との交流もあり生徒の自己肯定感醸成の一助となった。
3 交通安全指導については、毎月４回朝と放課後の指導をにのみやアクティブクラブと共に行い、一定の効果をあげることができた。自転車のマナーについてはさらに指導していくことが必要である。
ケース会議の実施や外部機関との連携を積極的に行ない成果があった。支援方法や支援シートの活用等のアドバイスを受け参考にすることができた。
生徒の教室環境や校内美化に対する意識は着実に向上している。
4 インターンシップ事前職員訪問をおこない、より綿密な提供ができた。
１年大学訪問は、講話を受け身近に大学を体験できた。
キャリア教育計画に応じた学年進行に合わせた全体の説明等のメニューを用意できた。
シチズンシップ教育の一環として、３年に選挙権に関する指導をおこない、社会と関わることの指導ができた。
5 地域行事へも昨年に引き続き参加することができ、地域から一定の評価を得られた。
ボランティア掲示板を設置し、ボランティア等の生徒への周知を図った。地域のボランティア活動への参加を推進した。
6 成績処理等の重要事項に関して、日程等の見直しを行い、より慎重で丁寧な点検を繰り返し実施して、事故防止に努めた。
グループ横断業務を通じて、グループ間の連携を密にとることができた。
複数のチェツク体制をとり、会計マニュアルを遵守し適正な会計処理を行った。
防災教育（災害図上訓練）を実施し、町役場、地域、保護者、生徒の連携を図った。
学年ごとに各生徒用に梱包された防災備品の購入を行い、防災対策の充実を図った

| 連絡先（電話番号） | 0463-71-3215 |
|---|---|